

Visual Mining Studio バージョン 7.3 の変更点

2013 年 1 月 31 日

株式会社 数理システム

1. 欠損値表示の変更

Ver7.2 のデータ&グラフビューでは、以下の値が-INF として表示されます。

- A) 整数列の-2147483647
- B) 実数列の-HUGE_VAL(-1/0 などで作成される値)

Ver7.3 のデータ&グラフビューでは、以下の値が-INF として表示されます。

- A) 実数列の-HUGE_VAL(-1/0 などで作成される値)

-2147483647 はそのまま表示されます。一部のアイコン、スクリプト関数で、上記の 2 値について欠損値として扱う関数に変更はありません。表示についてのみの変更となります。

2. バージョン 7.3 への移行に伴う影響

下記の新しい関数名は変数として使うことができなくなりました。

```
folding_in_dyadic_model  
updating_dyadic_model
```

すでにお使いの場合は置換機能で変数名の変更をお願いします。

3. 新機能一覧

新規アイコン

データエクスポート

入力データを外部に出力する。

線形回帰分析 R

Rを使用して線形回帰分析を行う。

予測 R

線形回帰 R などのアイコンで作成したモデルを用いて予測を行う。

新規スクリプト関数

folding_in_dyadic_model

二項ソフトクラスタリングの結果を用いて継続学習を行う。

updating_dyadic_model

二項ソフトクラスタリングで作成したモデルにデータの変更、クラスタの変更を行い継続学習、更新を行う。

4. 追加機能一覧

改善されたアイコン

データハンドリング

機能を刷新

Dyadic Soft Clustering

二項ソフトクラスタリングを、並列処理を用いて高速化

改善されたスクリプト関数

read_file

オプションに文字コード指定を追加

titles

列名の変更を追加

chain_table

欠損処理機能を追加

sys_info

現在の処理が、実行であるか再実行であるかの情報を追加

dyadic_soft_clustering

並列処理機能を追加